

令和6年度
前期学位記授与式 式辞



和歌山大学の令和6年度前期卒業式において、学部を卒業し学士の学位を得た18名、大学院修士課程を修了し学位を得た3名、そして博士後期課程を修了し博士の学位を得た1名の計22名の皆さん、学位取得おめでとうございます。皆さんを卒業生、修了生として送り出せることを、列席しております理事・副学長、学部長、そして本学教職員とともに心よりお祝い申し上げます。

また、卒業生のご家族におかれましては、本日は和歌山大学の卒業式にご参列いただき、誠にありがとうございます。この晴れの日、皆さんとともにこの場に立ち、皆さんの卒業を祝うことができることを、大変光栄に思います。

皆さんが今日ここにいるのは、決して簡単な道のりではなかったはずですが、新たな知識を吸収し、難しい課題に取り組み、時には挫折や困難に直面したこともあったでしょう。しかし、皆さんはそのすべてを乗り越え、今日というこの晴れの日を迎えました。その努力と忍耐、そして学びに対する真摯な姿勢に、深い敬意を表します。



和歌山大学で過ごした時間は、皆さんの人生の中で非常に重要な時期であったことでしょう。ここでの学びは、単に専門的な知識を得るだけでなく、自ら考え、行動する力を培うものであったと思います。授業や研究、課外活動、さらには地域社会との関わりを通じて、皆さんは多くの経験を積み、自らの可能性を広げてきました。その結果が、今日の卒業という形で結実したのです。

皆さんがこれから社会に出て行くにあたり、いくつかの大切なことをお伝えしたいと思います。まず、皆さんがこれから直面する世界は、急速に変化し続けています。技術革新やグローバル化の進展、日本の経済状況の変動などにより、私たちの生活や働き方は日々変わり続けています。そんな中で、皆さんに求められるのは、変化に対応する柔軟性と、新たな課題に対する創造的な解決力です。和歌山大学で培った知識やスキルを活かし、この変化の波を乗り越え、社会に貢献するリーダーとしての役割を果たしてください。

また、成功だけでなく、失敗もまた人生の一部であることを忘れないでください。失敗は決して終わりではなく、学びの一環です。困難に直面したとき、その経験をどのように活かすかが、皆さんの成長に繋がります。失敗から得た教訓を次のステップに活かし、より強く、より賢明な自分を築いてください。

ここで、アメリカ合衆国第32代大統領フランクリン・ルーズベルトのファーストレディであり、また女性活動家として活躍したエレノア・ルーズベルトの言葉を紹介したいと思います。「The future belongs to those who believe in the beauty of their dreams.」
（「未来は、自分の夢の美しさを信じる人のものである。」）

この言葉は、皆さんがこれから進むべき道において、非常に重要な意味を持っています。社会に出た時、多くの困難や挑戦が待ち受けているでしょう。しかし、どんな時でも自らの夢を信じ、その美しさを疑わないでください。夢を持ち続け、その実現に向けて努力することが、未来を切り開く力となります。

また、夢は、皆さんが人生の困難に直面したときの道しるべとなり、力強い希望を与えてくれるものです。自分自身の夢を追い求めることで、皆さんは自らの人生を豊かにし、同時に他者にも影響を与えることができるのです。夢に向かって努力し続けることは、人生を豊かにし、社会においても大きな影響を与えることができます。和歌山大学で培った知識やスキルを活かし、社会の一員として、自らの夢を実現するために努力し続けてください。

さらに、これからの社会では、人間関係がますます重要になっていくでしょう。和歌山大学で築いた友人や教職員との絆は、皆さんの人生において大きな支えとなるはずですが、これらの関係を大切にし、互いに支え合いながら、共に成長し続けてください。私たち教職員も、皆さんのこれからの活躍を常に応援し、見守っています。大学での出会いや経験、友情や師弟関係は、これからの人生においても価値ある宝物です。新たな環境で出会う人々との繋がりを大切にし、違う価値観や文化を尊重しながら、多様性の中で成長して行ってください。

私たちが大切にしなければならない価値観に、「豊かな人間性と深い倫理観、さらにコミュニケーション能力」があります。知識の追求だけにとどまらず、人間性、倫理観、コミュニケ

ーションを合わせ持つ人になってください。そのために大学教育があり、重要な学びの一環であったと信じています。社会に出ても、誠実さと倫理観を持ちながら、人々と協力し、理解を深め続けてください。

人は成長と共に老化が始まっています。将来、健康でい続けるためには心と身体のバランスをしっかりと維持させてください。和歌山大学では、学びと well-being の両面を大切にし、自分自身を成長させる過程で、健康であることを実感し、かつ人生の喜びと充実感を感じる事が重要であることを強調しています。その充実が、自分自身と周囲の人々への喜びをもたらすことに繋がります。また自分自身の欲望や都合だけでなく、相手の立場や感情を理解し、共感することができる人であり続けてください。その思いやりの心が、人々の心をつなぎ、温かい絆を築く原動力となることでしょう。

最後に、私たち教職員一同、皆さんのこれからの旅立ちに向けて、心からの祝福をお送りいたします。皆さんの未来が、希望に満ちたものであり、これからの人生が豊かで実りあるものとなることを、心から願っています。どのような困難が待ち受けていようとも、和歌山大学で培った精神と力をもって、堂々と前進し続けてください。皆さんの成功と健康、そして幸運を祈りつつ、この式辞を締めくくります。

本日は、誠におめでとうございます。



令和6年9月24日
和歌山大学 第18代学長 本山 貢